



学校だより

YY-NET 公式サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/mitakedai/>

第432号
横浜市立みだけ台中学校
令和4年11月28日

学校教育目標：めざします！生き生きと楽しく笑顔あふれる学舎（まなびや）を！！

人権週間に寄せて

校長 小林 誠

寒さも本格的になってまいりました。この時期になりますと、学校ではクリスマスよりも先に人権週間の時期となります。今年は12月の4日から10日が人権週間となります。

それに先立ちまして、11月22日には、本校2年生があおば支援学校中学部生徒とボッチャ交流をしました。あおば支援学校が開校してから2年半、コロナ禍に阻まれながらもやっと、直接の交流をするところまでこぎつけました。前回の学校だよりでは、『もともと共生の意識の高い地域』と書きました。だからと言って、地域の中学生はほっておいても共生の意識が高くなるわけではないでしょう。今回生徒たちは実際に顔を見て、一緒に活動をして、自分との違いを知るところまでできました。交流の様子を見ていると、すでに男子同士で盛り上がっていたり、閉会の言葉に女子が一緒に前に出て、手話をしたりという光景が見られました。

これが芽となって、互いの違いに気が付き、対等な付き合いの中にさりげなく気遣いができていく、そんな関係になっていってほしいと思います。同じ地域の学校に通う者同士の『共生』が育っていくことに期待します。

また、昨年度に本校では、横浜国際人権センターのプログラムで『国境なき医師団』の方を講師にお招きして、人権移動教室を実施しました。その時の感想文が、センターの発行する冊子、『語る・かたる・トーク』のVOL. 332(10月発行)とVOL. 333(11月発行)に掲載されました。改めて読んでみますと、生徒たちの優しさや意識の高さには感心させられます。

これからも、生徒たちの成長のために、様々な体験を用意していきたいと思います。地域の皆様・保護者の皆様におかれましても、子供たちの成長を今後とも温かく見守っていただけますよう、よろしく願いいたします。

11月は、様々な方に学校に来ていただき、話を聞いたり交流をしたりして学ぶ機会が多くありました。

< マリノス食育教室 >

11月8日(火)に一般財団法人 F・マリノススポーツクラブ理事 スクール・ふれあい・ディレクター 望月 選 先生を講師としてお招きし、1年生を対象に食育教室を開催しました。テーマは、「中学生の食事について『将来に向かっての食習慣作り』健康なカラダを作る食生活をしよう！」でした。講演の中で、生徒達と対話をしながらお話をしてくださり、生徒一人ひとりが自分事として捉え、食事の大切さを学ぶことができました。生徒の感想からは、朝食をたくさん摂ると体づくりと成績アップにつながる事が分かったので、これからは早起きをして朝食をしっかり摂りたい、成長期に特にカルシウム・鉄分・食物繊維・タンパク質を主にとってバランス良く食べるようにしていきたいなどの声が聞かれ自分の食生活を見直すきっかけになっているようでした。また、後半はストレッチ指導もしていただき、運動前後のストレッチの重要性や怪我の予防について学ぶことができました。



< 県立あおば支援学校との交流 >

11月22日(火)、2年生と5・6・7組の生徒が、福祉体験学習として、県立あおば支援学校のご協力により同校生徒とボッチャで交流しました。1組と5・6・7組の生徒はあおば支援学校へ行き、2・3組の生徒は、本校体育館にあおば支援学校の生徒をお迎えし、競技と交流を楽しみました。

パラリンピックでもおなじみのボッチャは、ジャックボールと呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに的の中心に近づけるかを競います。今回の交流では、一人ずつ交代で真ん中に置かれた的に向かってボールを投げたり転がしたりし、ボールが止まったところの点数の合計を競う、という特別ルールで行いました。

交流に先立ち、あおば支援学校の様子やそこに通う生徒たちについて知るため、11月7日(月)には、1・2年生が合同であおば支援学校の先生のお話を聞く機会をもちました。



同じ地域にある学校に通う仲間として、これからも様々な場面で交流を深めて行きたいと思います。

< 読み聞かせ >

11月4日(金)にボランティアの方々による読み聞かせがありました。感染症の関係で、ボランティアの方々による全校読み聞かせは3年ぶりの実施でした。

ボランティアの方々臨場感のある読みに、どのクラスも真剣に聞き入っていました。自分で読書をするのとは異なる雰囲気でも本に触れることで、本を読むことの楽しさや面白さを改めて知る良い機会となりました。ボランティアの皆様、ありがとうございました。

< いのちの授業 >

講師：野口としの先生
(助産師 町田市 としの助産院)

11月18日(金)、道徳教育の一環として体育館においてご講演いただきました。野口先生は町田市のとしの助産院で仕事をする傍ら、いのちの大切さについて様々な学校でお話をされています。

「赤ちゃんはお母さんのお腹の中でうんちやおしっこをしますか？」

先生は中学生のみなさんに興味を引く問いかけをされ、お話を進めてくださいました。また、先生が助産院で撮影した写真や妊婦の方の生きたお話を紹介してくださいました。

< 保育講話 >



11月9日(水)、3年生の家庭科で、来月行う保育実習の事前学習として、横浜市子ども青少年局の方を講師としてお招きし、授業を行いました。

幼児の行動の特徴やかかわり方、幼児の言動をどのように受けとめればよいのかなど、保育士の方の具体的な事例や意見を交えながら話していただきました。

また、保育の仕事の魅力についてもお話をいただき、職業への理解も深まりました。

真剣に話を聞いている生徒たちの姿がとても印象的でした。